

本誌は、県民の皆様に山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>>第1回子どもの読書活動スキルアップ講座(子どもと読書活動をつなぐ・連続講座)を開催しました。

平成26年5月22日(木)、今年度第1回目のスキルアップ講座を開催しました。「ブックスタートからサードブックまで」と題して、前富士吉田市立図書館長の加藤原成氏にご講演いただき、49名の参加がありました。

富士吉田市では平成14年から4か月検診時に実施している、ファーストブックプレゼントに加えて、平成21年度から同市出身の羽田氏の遺志を受け、羽田ブックプレゼント事業として、セカンドブックプレゼント、サードブックプレゼントを実施しています。これにより、子どもの成長にあわせ、小学校入学時と中学校入学時まで6年おきに、計3回にわたって本が手渡されます。セカンドブックプレゼント、サードブックプレゼントについては学校の先生や図書館司書が選んだ30冊の本の中から、親子で実際に本を手にとって選び、参観日や三者懇談時などに贈呈されています。



この一連の取り組みには、どの成長段階においても親子で一緒に図書館へ来てほしいという願いが込められているとのことでした。また、図書館でブックスタート事業、及びフォローアップ事業を行っている担当者から、司書がどのように関わっているか実例を挙げながら分かりやすくお話しいただきました。

参加者からは、「自館でセカンドブックの導入を予定しているため参考になった。」「継続して子どもの読書に関わるために、いろいろな工夫をしていることが分かった。」等の感想が寄せられました。

>>平成25年度「学校支援セット」貸出サービスの利用状況

学校向けにテーマ毎にセットした図書を貸し出す「学校支援セット貸出」の昨年度一年間の利用状況は、調べ学習に対応した「調べるセット」が4件、朝の10分間読書等に対応した「朝の読書推進セット」が17件の合計21件でした。

利用した学校からは、「読書週間中に活用し、普段は子どもが手にとらないジャンルの本を紹介することができた。」「特設コーナーを設けて展示を開催できた。」「教師による読み聞かせを行った。」等の報告をいただきました。それぞれの学校で、工夫を凝らし幅広く活用いただいています。

なお、学校支援セットの利用を希望する場合は、1ヵ月前までに事前予約をお願いしています。また、サービスの利用には予め団体登録が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

(URL:http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_gakkou2.html)

>>こどもの読書週間記念イベント 2014 [4月23日(水)~5月11日(日)]を開催しました。

「最近出版された本の中で、子どもの年齢に合った良い本を知りたい。」「学校図書館で本を購入する時の参考情報が欲しい。」という声にお応えして、山梨県立図書館と県内の市町村立図書館等では、毎年、1年間に出版された本の中から、幼児、小学生低・中・高学年、中学生・高校生に読んでほしい本 110 タイトルを選び「こどもにすすめたい本」として内容を紹介する冊子を作成しています。この冊子は、山梨県立図書館ホームページに掲載するとともに、県内の幼稚園や保育所、学校、並びに県内の市町村立図書館等に配布しています。

山梨県立図書館では選ばれた本を実際に見て内容を知っていただくため、「子ども読書の日」(4月23日)「こどもの読書週間」(4月23日~5月12日)にあわせ、「こどもにすすめたい本 2014」の展示を行いました。

会場は「これ、読みたい!」と足を止めページをめくる親子や、本を見ながら語り合う中学生、冊子を見ながら気になる本をチェックする大人など、たくさんの方で賑わいました。また、4月27日(日)と5月4日(日)に実施した「とことこおはなし会スペシャル」では、『パンダ銭湯』など展示図書の読み聞かせやブックトーク、ストーリーテリング「おいしいおかゆ」、エプロンシアター「三びきのやぎのがらがらどん」などを行い、3・4歳から小学校1・2年の親子が特別プログラムを楽しみました。



>>児童青少年サービス講座中級編を実施します。

子どもの読書活動推進にあたり、専門的助言や技術的な指導を行う人材を育成するため、専門理論と実践力を学ぶ講座を開講しています。県内の公共図書館等で児童・青少年サービスを担当して3年以上、または、学校図書館等に勤務して3年以上の方が対象です。

今年度は、「子どもへのサービス 理論と実践」をテーマに、7月31日(木)から12月12日(金)にかけて全5回で実施します。

内容としては、第1回はサービスの理論や現状等を中心とした「児童サービス概論」、第2回は書架の状況や蔵書構成の分析・見直し、選書等を中心とした「書架と蔵書構成を見直す」、第3回は先生との連携・協力による調べ学習等の事例紹介を中心とした「学校図書館を活用した授業実践」、第4回は具体的なサービスの実践等を中心とした「子どもに本をすすめるための手法」、第5回は国際子ども図書館の児童サービスの活動紹介を中心とした「図書館による児童サービスの実際」の5回連続講座です。

なお、今年度の受講者の募集は終了しています。